

例

〇〇学校第〇学年 道徳科学習指導案

令和 年 月 日 () 第 校時

児童生徒数 名

授業者

1 主題名 ○○○○○○

【友情、信頼】中学校B(8)

内容項目番号

内容項目名

校種
(小学校は校種を書いた後、
低・中・高のいずれかを記載)

A、B、C、Dのいずれか

2 ねらいと教材名

(1) ねらい
(A)

(B)

.....を通して、.....しようとする
(C) ○○○○○○を育てる。

(2) 教材名
「

」(○○○○○)

教科書会社

◆ねらいの書き方
(A)教材の活用部分や活用方法(中心発問
関連等)、学習活動を簡潔に表記する。
(B)内容項目(学習指導要領解説 特別の
教科 道徳編)から適切に引き出す。
(C)道徳性の諸様相(道徳的判断力・道徳的
心情・道徳的实践意欲と態度等)を示す。
※文末表現
～を育てる。～を養う。～を培う。～を高める。
～を豊かにする。～を深める。など

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

道徳的価値について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。

(2) 児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

明確な価値観を基に、児童生徒のこれまでの学び、よさや課題を明確にし、育てたい児童生徒像をもつ。

(3) 使用する教材の特質や取り上げた意図及び具体的な活用方法

明確な価値観、育てたい児童生徒像を基に、資料の活用の仕方を明らかにする。

4 学習指導過程

	学習活動	発問(中心発問◎、○)や問い返し(◆)と予想される児童生徒の反応(・)	指導上の留意点 評価 <input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 自
導入	<p>発問は、次のことを意識したものにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> *児童生徒の意識の流れに沿った発問 *考える必然性や切実感のある発問 *広い視野から多面的・多角的な思考を促すことのできる発問 等 <ul style="list-style-type: none"> ◎中心発問 ○その他の発問 ◆主な問い返し ・予想される児童生徒の反応 		
展開	<p>評価の2つの視点について、どのような場面で見とるのか分かるように書く。</p> <p><input type="checkbox"/>多 児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか</p> <p><input type="checkbox"/>自 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか</p>		<p><input type="checkbox"/>多</p> <p><input type="checkbox"/>自</p>
終末			

5 評価（評価方法）

多
自

【評価の視点】

多 児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと思考を
発展させているかどうか

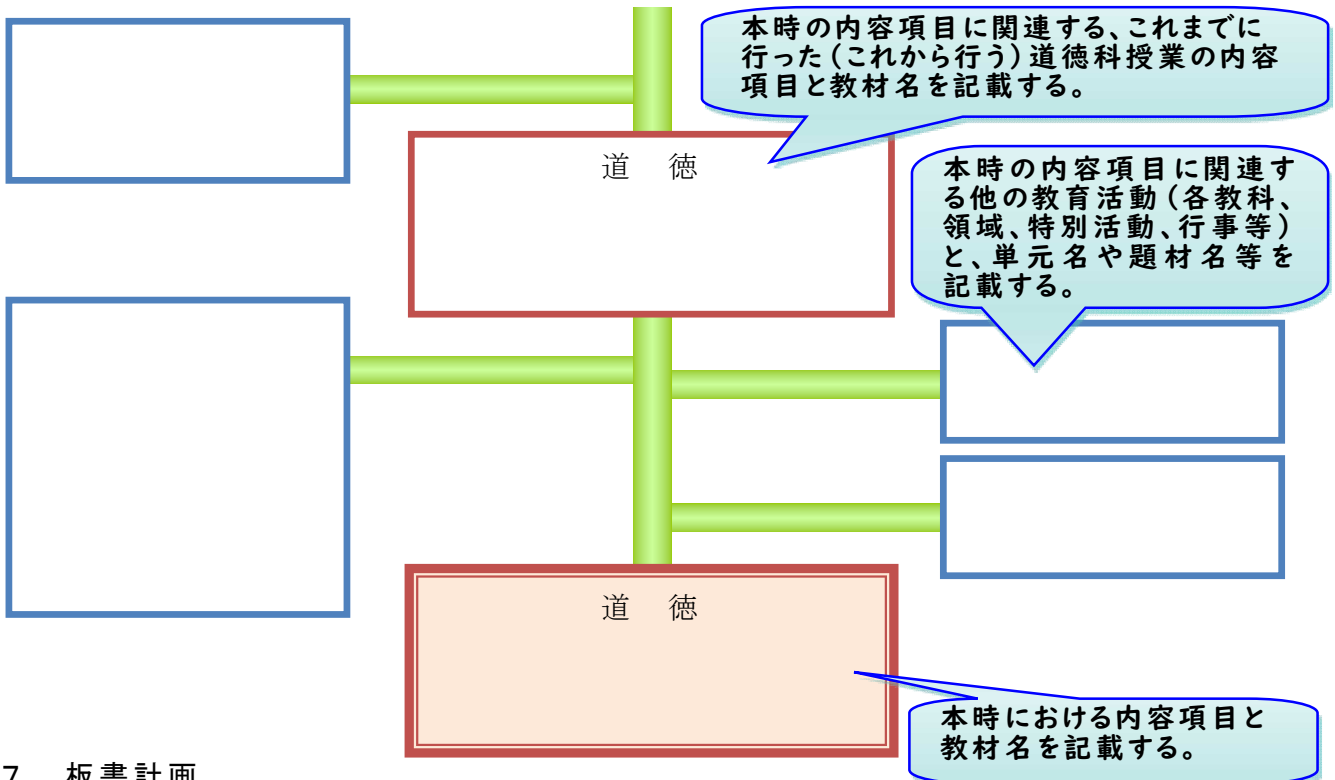
自 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

評価の文末は、「 ～している。」

評価の方法は、（発言、道徳ノート）等

6 他の教育活動との関連

詳しくは、道徳教育用指導資料集（平成 28 年 2 月高知県教育委員会）等を参照ください。



7 板書計画

8 その他